



2023年7月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月21日

上場会社名 株式会社 プラネット

上場取引所 東

コード番号 2391 URL <https://www.planet-van.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 政一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理管轄役員 (氏名) 川村 渉 TEL 03-5962-0811

四半期報告書提出予定日 2023年3月14日 配当支払開始予定日 2023年4月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第2四半期の業績(2022年8月1日～2023年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第2四半期	1,574	1.5	316	10.2	326	9.7	219	10.7
2022年7月期第2四半期	1,551	2.0	353	5.6	362	5.7	245	6.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第2四半期	33.04	
2022年7月期第2四半期	36.99	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第2四半期	6,237	5,269	84.5
2022年7月期	6,273	5,161	82.3

(参考)自己資本 2023年7月期第2四半期 5,269百万円 2022年7月期 5,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期		21.00		21.00	42.00
2023年7月期		21.00			
2023年7月期(予想)				21.50	42.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年7月期の業績予想(2022年8月1日～2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	2.2	705	0.1	720	1.7	490	6.9	73.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年7月期2Q	6,632,800 株	2022年7月期	6,632,800 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年7月期2Q	1,916 株	2022年7月期	1,916 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年7月期2Q	6,630,884 株	2022年7月期2Q	6,630,887 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症対策が進むとともに経済社会活動の正常化も進み、景気は緩やかに持ち直しているものの、ウクライナ情勢の長期化や変異株の感染拡大、物価上昇など、依然として先行きは極めて不透明な状況で推移しております。

当事業が中心的に関わる一般消費財流通業界においては、ウィズコロナの下、外出機会の増加から化粧品やドリンク剤などの医薬品の一部が好調に推移しました。また、感染者数の増加に伴い発熱等の症状を緩和する風邪薬や解熱鎮痛剤、鎮咳去たん薬などの需要が伸長したことから、全体としての需要も引き続き堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社は「プラネット ビジョン2025」に基づき、中立的な立場で「企業間取引における業務効率の追求」「企業間におけるコミュニケーションの活性化」「流通における情報活用の推進」「社会に役立つ情報の収集と発信」を行うことで業界と社会に貢献すべく各施策への取り組みを継続しました。

事業別の活動状況は次のとおりです。

● EDI事業

日用品・化粧品、ペットフード・ペット用品、OTC医薬品（一般用医薬品）に加え、健康食品や介護用品などの隣接した各業界において、メーカー・卸売業間の「基幹EDI」サービスのさらなる普及活動を継続しました。

また、業界のオンライン取引の一層の推進を図るべく、主に中小メーカー・大手卸売業間の「Web受注一仕入通信サービス『MITEOS（ミテオス）』」や、卸売業の販売実績をメーカーに通知する「販売データ」を簡易に利用できる「販売レポートサービス」の普及活動に注力しました。特に「MITEOS」では、新しいデータ種「返品予定データ^{※1}」を2022年11月にリリースしました。これにより、メーカーは「返品予定データ」を受信し、返品検収業務を効率的に行うことができるようになり、併せて、送受信したデータをダウンロードできるようになりました。今後も「MITEOS」の利便性向上を目指してまいります。

さらに、ロジスティクスEDI（物流領域のEDI）でもデータ種第2弾「入荷検収データ^{※2}」を2022年11月にリリースしました。「入荷検収データ」は紙の受領書に代わるものであり、メーカーが直接確認して保管することができます。「出荷予定データ^{※3}」と併せて「入荷検収データ」が利用されることで、業界全体でのデジタル化による合理化・効率化につながると考えています。

※1 卸売業がメーカーに商品を返品する場合に、返品内容を通知するデータ

※2 メーカーからの事前出荷案内にもとづき、受領した商品情報をメーカーに通知するデータ

※3 卸売業からの発注に基づき、メーカーの出荷予定情報や出荷確定情報を卸売業に通知するデータ

● データベース事業

各データベースサービスの付加価値向上のための取り組みを継続しました。

小売業の店舗や、卸売業の支店・物流センターなどを示す「標準取引先コード」を蓄積した「取引先データベース」において、さらなる機能改善に向けた調査を継続しました。

● その他事業

AI・ビッグデータ活用の調査研究を継続しました。

また、「POSデータクレンジングサービス」については、流通サプライチェーン全体の可視化、効率化につながるサービスへと進化させるため、株式会社True Dataとともに開発を継続しました。

これら3つの事業への取り組みの結果、主に「基幹E D I」の売上増加などに支えられ、当第2四半期累計期間の売上高は1,574百万円(前期比1.5%増)となりました。売上原価は、「取引先データベース」システムリニューアルに伴う費用などの増加により553百万円(前期比5.6%増)、販売費及び一般管理費は、3年ぶりにトップセミナーならびにユーザー会を会場にて開催した費用などが増加したことにより704百万円(前期比4.4%増)となりました。その結果、営業利益は316百万円(前期比10.2%減)、経常利益は326百万円(前期比9.7%減)となり、四半期純利益は219百万円(前期比10.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ36百万円(0.6%)減少し、6,237百万円となりました。流動資産は258百万円(7.9%)減少し、2,995百万円となりました。これは主に現金及び預金が221百万円(8.1%)減少したことなどによるものであります。また、固定資産は前事業年度末に比べ222百万円(7.4%)増加し、3,241百万円となりました。これは主にソフトウェアが増加したことなどによるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ144百万円(13.0%)減少し、968百万円となりました。流動負債は、前事業年度末に比べ166百万円(29.5%)減少し、399百万円となりました。これは主に未払金が減少したことなどによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ22百万円(4.2%)増加し、569百万円となりました。これは主に退職給付引当金が増加したことなどによるものであります。

純資産の部は、利益剰余金が増加したことなどにより、前事業年度末に比べ108百万円(2.1%)増加し、5,269百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末に比べ221百万円減少し、2,470百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、296百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益(326百万円)及び減価償却費(109百万円)の計上があった一方で、法人税等の支払額(119百万円)があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、378百万円となりました。これは、ソフトウェアの取得(337百万円)があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、139百万円となりました。これは、配当金の支払額があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期は、従来に引き続き、日用品・化粧品、ペットフード・ペット用品、OTC医薬品(一般用医薬品)に加え、健康食品や介護用品などの隣接した各業界へ当社の主たる事業であるE D Iの普及活動を続け、中長期的に安定した成長を目指してまいります。

通期の見通しにつきましては、現時点におきましては2022年9月14日付「2022年7月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想と変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,721,958	2,500,894
売掛金	507,077	475,047
前払費用	11,883	11,252
その他	13,679	8,879
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	3,254,498	2,995,973
固定資産		
有形固定資産		
建物	41,222	41,222
減価償却累計額	△37,201	△37,593
建物(純額)	4,021	3,629
工具、器具及び備品	29,905	29,905
減価償却累計額	△21,394	△22,182
工具、器具及び備品(純額)	8,510	7,723
有形固定資産合計	12,532	11,352
無形固定資産		
ソフトウェア	572,716	715,754
電話加入権	1,383	1,383
無形固定資産合計	574,099	717,138
投資その他の資産		
投資有価証券	1,106,862	1,152,070
関係会社株式	1,043,087	1,068,451
保険積立金	192,579	202,711
その他	90,092	90,033
貸倒引当金	—	△15
投資その他の資産合計	2,432,621	2,513,250
固定資産合計	3,019,253	3,241,741
資産合計	6,273,752	6,237,715

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	157,794	153,453
未払金	154,954	33,811
未払法人税等	128,692	119,568
賞与引当金	26,130	26,744
役員賞与引当金	37,000	18,500
その他	61,474	47,060
流動負債合計	566,045	399,137
固定負債		
繰延税金負債	40,094	49,553
退職給付引当金	252,367	266,424
役員退職慰労引当金	243,300	242,450
資産除去債務	10,675	10,766
固定負債合計	546,438	569,194
負債合計	1,112,483	968,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,100	436,100
資本剰余金	127,240	127,240
利益剰余金	4,011,593	4,091,404
自己株式	△1,793	△1,793
株主資本合計	4,573,139	4,652,950
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	588,128	616,433
評価・換算差額等合計	588,128	616,433
純資産合計	5,161,268	5,269,383
負債純資産合計	6,273,752	6,237,715

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年8月1日 至2022年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自2022年8月1日 至2023年1月31日)
売上高	1,551,956	1,574,559
売上原価	524,173	553,433
売上総利益	1,027,783	1,021,126
販売費及び一般管理費	674,730	704,151
営業利益	353,052	316,975
営業外収益		
受取利息	27	13
受取配当金	2,410	2,781
有価証券利息	5,959	6,369
雑収入	660	726
営業外収益合計	9,057	9,890
経常利益	362,110	326,866
税引前四半期純利益	362,110	326,866
法人税、住民税及び事業税	116,785	110,828
法人税等調整額	18	△3,021
法人税等合計	116,803	107,807
四半期純利益	245,306	219,059

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	362,110	326,866
減価償却費	99,164	109,489
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△18	15
受取利息及び受取配当金	△2,438	△2,794
売上債権の増減額(△は増加)	17,328	32,029
仕入債務の増減額(△は減少)	3,682	△4,341
賞与引当金の増減額(△は減少)	△967	614
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,500	△18,500
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△369	14,056
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,112	△850
未払金の増減額(△は減少)	6,149	△34,614
未払消費税等の増減額(△は減少)	△83	△1,478
その他	△15,056	△13,793
小計	464,113	406,698
利息及び配当金の受取額	8,444	9,348
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△135,286	△119,982
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,271	296,064
投資活動によるキャッシュ・フロー		
ソフトウェアの取得による支出	△36,005	△337,876
関係会社株式の取得による支出	-	△30,000
その他	△10,079	△10,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,084	△378,008
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△139,117	△139,121
自己株式の取得による支出	△5	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△139,123	△139,121
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	152,063	△221,064
現金及び現金同等物の期首残高	2,496,518	2,691,958
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,648,581	2,470,894

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

当第2四半期累計期間における販売実績を事業別に示すと、次のとおりであります。

事業別	前年同四半期 〔2022年7月期 第2四半期〕		当四半期 〔2023年7月期 第2四半期〕		(参考)前期 (2022年7月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
E D I 事業	1,426,424	91.9	1,450,314	92.1	2,874,629	91.8
データベース事業	121,152	7.8	124,245	7.9	251,357	8.0
その他事業	4,380	0.3	0	0.0	4,960	0.2
合計	1,551,956	100.0	1,574,559	100.0	3,130,947	100.0

(注) 1. 記載金額については、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 記載比率については、表示単位未満を四捨五入して表示しております。

以上